

し業 夫事 工た

給食のグ レードア ップ

これから紹介する事業は、新しい事業もありますが、主に従来から継続している事業を見直し、工夫をしたものです。

給食のグレードアップ

小・中学生の食べる学校給食は、父兄が負担する給食費で賄われています。3年度は食肉センターから100万円



楽しい給食もグルメ時代

の助成を受けることによって同センターで処理された新鮮で質の良い豚肉を給食に提供していくことになりました。これは、学校給食に地域の特性を加えるため、さらには食肉センターをはじめ、畜産農家、同業会等の地域で果たしている役割を広く児童・生徒に認識していただくためのものです。これを契機に一層給食内容の充実に努めます。

保育事業の町負担額の増加

父兄の負担軽減を図るため、昨年度に引き続き保育料の

改定を見送りました。

このため、保育事業についての町の負担額は約5,000万円となり、父兄の負担額とほぼ同額になりました。なお、園児ひとり当たりの町の負担額は18万5千円となります。

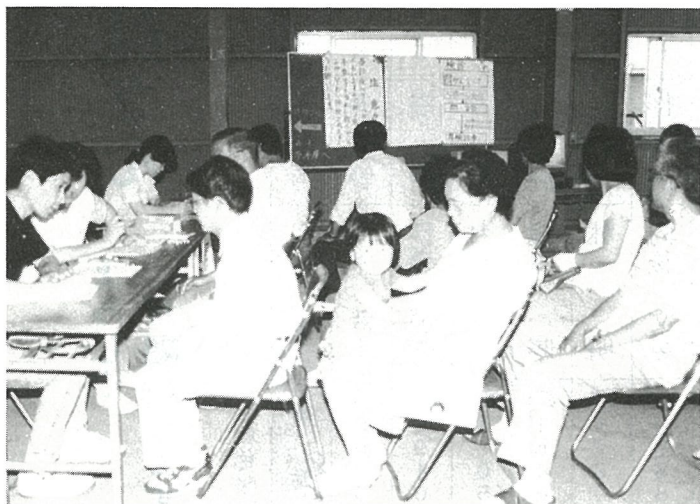
農業補助制度の改善

当町はなんとと言っても農業立町です。そこで、農業の生産性を向上させる土地改良事業の促進を図るため、町の補助率を大幅に引き上げると共に、ライスセンターによるコンバイン購入などの近代化施



次代を担う元気な園児たち

自分の健康を守る・住民検診



設導入に対する補助についても改善を加えました。また、一方では、新たに米のフレコン出荷を奨励するために助成制度を制定しました。

不法投棄監視員の設置

最近埋立てなどに絡んだ廃棄物処理問題をめぐるトラブルが発生し社会問題となっています。そこで、ゴミの不法投棄と併せて、これの監視および指導体制を強化していかねければなりません。そこで対応策の一環として、今年度から各地区2名ずつの「不法

投棄監視員」を設置することになりました。

健康診断の充実

町民のみなさんの健康を守るため、今年度の住民検診には、新たに心電図、眼底、血糖、貧血検査等を実施し、総合的判断ができるよう内容の充実を図りました。健康づくりは、町民のみなさんそれぞれが主役です。病気の早期発見、早期治療のためにも住民検診を是非、受診してください。